

令和8年第2回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和8年2月27日（金）後1時00分～午後1時40分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 会議室503
- 3 出席委員等
教育長 玉川 良雄
委員 林 哲人
委員 木佐谷 真理子
委員 笠谷 由美子
委員 清光 隼人
- 4 会議に出席した事務局職員
教育次長 引頭 康行
学校教育課長 田谷 義和
学校給食課長 池田 年規
生涯学習振興課長 戸高 孝文
図書館長 網本 浩明
- 5 会議の書記 教育総務課課長補佐 村上 大
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
(1) 議案第1号 令和8年度下松市教育行政の基本方針について
(2) 報告第4号 専決処分について
(3) 報告第5号 下松市立小中学校児童生徒文化表彰について
(4) 報告第6号 下松市芸術文化振興奨励賞（学生及び生徒）について

9 会議の付議の顛末

○教育長 それでは、2月の教育委員会定例会を開催いたします。

本日の議事録署名人ですが、林委員、木佐谷委員とお願いいたします。

それでは、早速ですが、議事のほうに入ります。

(1) 議案第1号 令和8年度下松市教育行政の基本方針について

○教育長 議案第1号、令和8年度下松市教育行政の基本方針についてを議題といたします。

教育次長のほうで説明をお願いいたします。

○教育次長 議案第1号、令和8年度下松市教育行政の基本方針についてご説明いたします。

資料2ページをご覧くださいと思います。

最初の3行、下松市の教育は、教育大綱の基本目標である多様な教育学習の機会の充実

による生涯にわたり生き生きと学べるまちづくりを基調として展開いたします。これは、教育大綱の基本目標ということで、先日、総合教育会議でも、変更なしの部分としてお知らせいたしておりますが、ここについては、令和7年度と変更がございません。

次からは、各課の基本方針となります。

まず1は、安全安心で快適な教育環境の整備ということで、主に教育総務課、学校施設の長寿命化、プールの適正化等を実施いたしまして、学校環境づくりを行ってまいります。また、ICT環境の充実ということで、小学生のGIGAクール端末の更新を行います。

2、心豊かに生きる力を育む学校づくり、学校教育課の方針になります。児童生徒の心豊かに生きる力を育み、ふるさとに誇りを持ち、たくましく、未来を切り開く心豊かな下松っ子を育成をいたします。そして、学校、家庭、地域がくだまつ愛でつながって、地域とともにある学校づくりを推進し、子供たちが安心して学べる環境をつくってまいります。

3は、安全安心でおいしい学校給食の提供です。地元の食材を活用し、安全安心でおいしい給食の提供、そして、食育を進めてまいります。小学校給食は、児童分について、国の交付金を活用しながら、学校給食費について無償化を行います。中学校給食については、引き続き、物価高騰分について保護者の負担軽減を図ってまいります。中学校給食センターは、施設改修等を行います。

4、生涯学習支援による学びのまちづくりです。社会教育文化施設の環境整備を進めるとともに、青少年の健全育成、生涯学習文化活動の機会の充実を図ります。天王森古墳につきましては、整備保存検討委員会の指導の下、引き続き発掘を進めてまいります。

5、市民に親しまれる知の拠点づくり、図書館です。図書館本館、バスを利用する移動図書館、そして、インターネット上の電子図書館、それぞれの利点を生かした図書館を目指してまいります。デジタルアーカイブや歴史資料を活用した企画展示等により、地域の歴史魅力を発信いたします。

6は、集い、繋がり、学びあう、開かれた公民館づくり。誰もが気軽に立ち寄り、人と人がつながれる場所、生涯学習の場所として、開かれた公民館づくりを目指してまいります。また、社会教育施設ですが、地域コミュニティの活動場所としても、地域住民とともに、地域の課題に向けた活動をしてまいります。

教育行政については、基本方針の説明については以上でございますが、これらの方針に基づいて、具体的な施策、事業等を展開してまいります。それについては、また、次の議案のほうで、新年度の事業等を説明させていただきたいと思っております。

以上です。

○教育長 ただいま令和8年度の下松市教育行政の基本方針についての説明がございましたが、これについて審議いたしたいと思っております。ご意見、ご質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。清光委員。

○委員 給食の件で、小学校は学校給食無償化を図りますが、たしか国から5,200円でしたっけ、1人当たり。それよりも収まっていたら、いいんでしょうけど、それを超える分というのは、負担を求めずに、市、税金からの負担を使ってやるという事業なんですか。

○教育長 池田学校給食課長。

○学校給食課長 今、委員さんがお示されましたとおり、5,200円については、国の

無償化となります。それを超えたことにつきましては、市のほうでまた予算化をいたしまして、プラスで無償化にするという形を取りたいと思っております。

○教育長 清光委員。

○委員 下回った場合って、これは返さなきゃ駄目なんですか。

○教育長 池田課長。

○学校給食課長 ただいま物価が高騰しておりますので、下回るということは、ほぼほぼどの市もないんじゃないかなと。先般、県のほうが調査したのも、大体1食当たりが平均で310円ちょっとかかっておりますので、なかなか下回るというのは難しいのかなと。もし下回る場合は、その下回るといったところの額が上限ということになるということだと思います。

○委員 分かりました。ありがとうございます。

○教育長 そのほかございませんか。林委員。

○委員 心豊かに生きる力を育む学校というのは、これはもう前からずっと使われている表現なんですけど、この前の教育大綱の話合いのときに、学びを楽しむという、そういう意識を子供たちに育みたいというのがありましたけど、これとの違い、今回の基本方針の中にこの言葉が出てこなかったのどうかなと。

○教育長 田谷学校教育課長。

○学校教育課長 学校教育課として目指す学校づくりが、地域とともにある学校づくり、この最後の文言になります。その地域とともにある学校づくりのほかに、3本柱を立てています。その中の1つが、学びを楽しむ子の育成、もう一つが、心と体を育む教育の充実、もう一つが、いわゆる学校の総合力の向上と、その4本柱になります。学校の総合力の向上というのが、こちらの捉えとしてはベースとしてあって、真ん中に学びを楽しむ部分と、心と体の部分、知・徳・体です。その辺を総合して目指すところが、地域とともにある学校づくりという捉えで考えておりますので、ちょっと具体はそこは載せてはいないんですけども、その中で地域とともにある学校づくりを目指すための具体的な方策は、また、今後具体化していくということで考えています。

○教育長 一番上の目標は、心豊かな力を育む学校づくりということはいいいんですよね。それに向けて、どんな学校を目指すかいうと、地域とともに連携して、一緒に子供たちを育む中でそういう力をつけていこうというような捉えで、学習面では授業が楽しい、子供たちが楽しめる学習というような形に、そんな捉えでよろしいですか、そういう解釈で。（「はい」と言う者あり）

そのほか、ございません。これについてはよろしいですかね。

採決いたします。反対の方ございますか。（「なし」と言う者あり）全員賛成ということで可決いたします。

（2）報告第4号 専決処分について

○教育長 続きまして、報告第4号、専決処分についてを議題といたします。

担当のほうで説明をお願いいたします。引頭教育次長。

○教育次長 報告第4号、専決処分についてご報告いたします。

4ページをご覧くださいと思います。

このたびの専決処分の内容でございますが、市議会3月定例会に教育費に関する令和7年度の補正予算、それから、令和8年度の当初予算が議案提出されました。内容について説明させていただきます。

まず、5ページになります。令和7年度一般会計補正予算（第8号）です。一番上の段の歳入につきまして、学校施設の改修に係る補助金を計上しております。また、幼稚園費の補助金につきましては、教育委員会ではなくて、市長部局のこども未来課なんですけれども、幼稚園の運営に関する補助金ということになっております。

それから、真ん中の歳出でございますが、教育総務費は、先ほどの幼稚園に係る歳出が計上されております。

小学校費につきまして、2,360万円補正予算を上げておりますが、これは、下松小学校の特別教室への空調の設置でございます。

中学校費につきましては、末武中学校の長寿命化改修で1億9,180万円、これを予算計上しております。この下松小学校の空調と末武中学校の長寿命化につきましては、一番下の段落になりますけれども、いずれも令和8年度に繰り越して、令和8年度に改修を行います。

続きまして、6ページなんですけど、教育費関係当初予算についてご説明させていただきます。

当初予算につきましては、現在、市議会に提出されておまして、今後審査があります。3月24日の会議で議決の見込みとなっております。

それでは、歳出予算、教育費全体で一番上の行なんですけれども、33億1,577万円となっております。このうち、所管課を見ていただいたら、こども未来課と、一番下に地域交流課というのがございますけれども、この幼稚園費と保健体育費については、市長部局が担当になっております。教育委員会の予算ではございませんが、これを除いた額が23億3,800万円となっております。大体昨年と同じような金額となっております。

次に、事業について説明いたしますけれども、本日、当初予算の記者発表資料というのをお配りしておりますので、そちらをご覧くださいになっていただけたらと思います。20ページです。

5の教育文化というところになります。まず、小学校の施設環境改善、教育総務課の事業になりますけれども、そのちょっと下に星印があるところ、具体的な工事、名称を記載しておりますけれども、豊井小学校と中村小学校の給食室の防水塗装を行います。公集小学校プールの浄化装置、プールの水をきれいにする装置、これ平成6年製で修理が困難になっておまして、改修を行います。中村小学校については、民地との境に防球ネットを設置いたします。その下、下松小学校の特別教室空調設備設置工事は、先ほど補正予算で説明いたしましたけれども、補正予算を繰り越して8年度に実施いたします。それから、小学校屋内運動場等空調設備設置事業、体育館等に空調を設置する事業に向けて、今年度設計を行います。下松小学校の、ちょっと1個戻りますけれども、特別教室の空調、来年

度設置することにより、特別教室については設置率が100%、これは県内でも当然100なのでトップになります。

次に、中学校の施設環境改善です。令和7年度から、末武中学校の本館棟の長寿命化改修を行っておりますが、5年計画の2年目の工事を行います。補正予算と当初予算、先ほど説明しました補正予算1億9,180万円と、令和8年度の530万円を合わせて2億153万円の予算となります。今年度は主に2階部分の長寿命化工事、壁とか床とか建て具ロッカー等の改修とLED化、それから、外壁の工事等を行います。中学校屋内運動場等空調設備設置事業は、これも同じく設計を行います。

次に、小学校・中学校給食センター管理運営業務等になります。小学校給食センターと中学校給食センターの合計が6億5,255万7,000円で、食材費の高騰等により、昨年度から増加しております。先ほども説明しましたが、小学校給食は国の交付金を活用して無償化を行います。国から5,200円、不足分は市のほうで、ほかの財源を用いて準備をいたします。中学校給食は、物価高騰分の負担軽減を行います。中学校センターの施設改修は、照明のLED化、窓の遮光フィルム設置工事を行います。資料にはありませんけれども、令和8年度1食当たりの小学校給食費について、それぞれ10円改定を行います。

次に、学校教育課の事業でございます。

コミュニティスクール推進事業として920万7,000円、引き続き、地域と連携した教育、地域とともにある学校づくりを目指してまいります。また、令和8年度も、くだまつ愛の醸成のために、子供たちのアイデアによるコミュニティスクールのリーフレットを作成いたします。

21ページになります。障害のある児童生徒一人一人のニーズに対応するため、子供支援員を1名増員します。スクールソーシャルワーカー派遣事業は、派遣時間を増加し、それから、こころサポーター活用事業は、こころサポーターを増員し、児童生徒の心の寄り添いを深めたいと考えております。

次に、図書館です。引き続き学校と連携し、読書活動を推進いたします。また、デジタルアーカイブにつきましては、資料の充実を図ることとしております。

次に、生涯学習振興課になります。文化振興、文化財保護事業です。吹奏楽を生かした文化振興を積極的に進めます。吹奏楽を通じて、都市間交流を図り、下松市地域活性化を図ります。

天王森古墳は、引き続き発掘と出土品の整理を行います。天王森古墳の周辺の3次元測量を実施し、天王森古墳の周辺の古墳の分布、規模等の情報を得ることにより、天王森古墳の歴史的な位置づけ、将来の国指定の資料といたします。

24ページです。人権推進事業といたしまして、一人一人の人権が尊重され、心豊かな地域社会の実現に向け、教育委員会では、人権啓発、人権教育を引き続き実施いたします。

説明は以上です。

○教育長 それでは、質疑に入りたいと思います。あるいは意見交換をしたいと思います。

まず、当初予算もありますが、補正のほうです。ページでいうと5ページ、補正のほうから、何かございますか。

当初予算を含めて質問していただいたら、あるいはご意見をいただいたらと思いますのでお願いします。木佐谷委員。

○委員 社会教育費のほうで、文化事業費、中央公民館事業費等々の公民館事業が、昨年度に比べ増加いたしておりますが、文化事業費は、先ほど説明のほうあったかと思いますが、公民館関係は施設関係なんでしょうか。増額の要因をお尋ねできたらと思います。

○教育長 公民館予算の増額の理由お伺いですが、今日、公民館長が所用で欠席ですので、引頭次長、お願いいたします。

○教育次長 公民館費の増額の中央公民館については、工事を実施します。その分で増えております。主な工事は、中央公民館は、室内の鉄骨の梁の塗装工事、それから、サルビアホールのバトンの改修工事、それから、久保公民館がちよっと増えているんですけども、これはユニバーサルデザイン化といいまして、トイレを多機能トイレにする改修、それから、手すりを設置する、そういった工事を行います。ほかに、1つ笠戸島公民館が少し増えているんですけども、これはLED化の工事を行います。

大体、以上でよろしいでしょうか。

○教育長 そのほかございませんか。清光委員。

○委員 20ページのほうにコミュニティスクール推進事業というので、児童生徒自らのアイデアを生かしたリーフレットを作成しますというのがあるんですけども、これは今回初めての取組なんですか。

○教育長 田谷課長。

○学校教育課長 学校教育課のほうで、まず令和7年度に実際に今スタートして、もうそろそろ完成になります。小学校から、実は高校生も数名参加をして、小中高のアイデアを生かして、代表の先生も入って、今、作成中です。本年度については、3月の終わり、4月の初めぐらいに完成して、配付とかデータ化で周知をする予定です。その取組が大変いい取組だなと、子供たちの様子を見てみると、子供たちのアイデアが様々出ているので、そのアイデアをまたさらに生かして、来年度も実施したいと考えています。

○教育長 清光委員。

○委員 吹奏楽で都市間交流を図りとあるんですけど、これ具体的にどこの都市とかイメージはあるんですか。

○教育長 戸高生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 イメージはございます。島根県の出雲市のほうと、都市間交流に向けて動きを進めております。来年度すぐ正式に協定を結ぶということではなくて、少しずつ機運を高めていきながらやっていきたいと思っております。

以上です。

○委員 たしか中学校に強い学校多いですよ、出雲。コンクールで、中国大会とか常連校の、そういうことですね。

○教育長 戸高課長。

○生涯学習振興課長 おっしゃるとおりで、非常に児童生徒、学生、社会人、幅広い世代で活躍されている団体、市ということで、下松市とも近い、より活動が盛んということで、少しでも近づけていきたいなと思っております。

以上です。

○教育長 どうぞ。

○委員 逆に防府市とかとはやらないんですか。

○教育長 戸高課長。

○生涯学習振興課長 防府市とは予定はございません。県内の場合は、割と連携が取れるということで、情報も収集できるところもありますし。

○教育長 都市間交流ということで、下松市は、姉妹都市がない都市なんですよ。それで、全庁的にいろんな分野で都市間交流のきっかけをつくりたいということで、市の第1号として、戸高課長が今頑張ってくれています。この吹奏楽を起爆剤とした文化交流から、市同士の特産品とか、いろんな分野での交流が広がっていくことを期待しているところです。出雲市は、すばらしい吹奏楽の先進市でありますので、この交流を通して力をつけていけるんじゃないかと思います。

そのほか、ございますか。林委員。

○委員 こども支援員は、そこにあるように、障害のある子供に対してのケアだと思うんですが、こころサポーター、これ以前あった、名前が変わった。

○教育長 そのあたりの説明を。田谷学校教育課長。

○学校教育課長 以前、長年、こころの教室相談員という形で、中学校だけに配置をしておいた事業を、こころサポーターの事業として、今活用しています。本年度は中学校に各学校1名ずつの3名、あと小学校に3名配置をして、現在は6名で配置をしています。

先ほど委員さんが言われたこども支援員のほうは、障害のある児童生徒に対するサポートになるんですが、こころサポーターのほうはどちらかというと、学校に行きづらい子供たち、不登校傾向の子供たちへのケアということで、例えば、教室に入れない子供たちがいれば、そのサポートと一緒に子供と話をしながら、教室への復帰を目指す取組とか、そういったところで効果を上げている事業でございます。

○教育長 そのほか。木佐谷委員。

○委員 すみません。先ほどのリーフレットのことでちょっとお伺いしたいんですが、小中高で市内で1種類作っておられるという感じですか。そうすると、いろんな小学校とか中学校とか、いろんな高校からいろんな子が一緒に頑張ってくれているということなんでしょうか。

○教育長 それまでちょっと詳しくお話をさせていただきますか。田谷課長。

○学校教育課長 主に中学校と高校が各校数名出ております。ですから、みんなのアイデアを一つの冊子にするということで、例えば、教育長とか市長が地域連携についての思いを語るページを設けたりとか、それを、子供たちのアイデアを基に作成をして、それを一つの冊子みたいな状態にするというような構想で今進めています。（「分かりました。楽しみですね」

○教育長 すばらしいものができると思います。県内では初めての試みじゃないかと思うので、期待をしていただけたらと思います。

そのほか、ございませんか。

私のほうから、図書館のデジタルアーカイブ、さらなる充実ということで、来年度どう

いったものが見られるのか、分かればば教えていただけたらと思います。網本図書館長。

○図書館長 天王森古墳の形象埴輪、令和8年度、復元ということで予定しております。復元された埴輪の3D画像、高精度な画像をデジタルアーカイブで公開する。

2つ目は、下松市和田にあります市指定史跡の宮原古墳というものがありますが、この古墳の内部の画像を撮影しまして、併せてデジタルアーカイブで公開することにしております。宮原古墳が原型をとどめておるんですが、行く行くちょっと崩落とまでは行かないんですけど、ひょっとしたら崩れるかもしれないんです。ですので、今のうちに内部の様子を撮影しまして、デジタルアーカイブに公開しようというふうに思っております。

以上でございます。

○教育長 ありがとうございます。内部の映像が見れるということで非常に楽しみですが、ちょっと崩落というふうなこともありましたけど、崩落の前に手をぜひ打っていただきたいなと思います。

そのほかよろしいですか。年度末の補正予算、そして、来年度の当初予算について、ご審議をしていただきました。

報告事項でございますので、ご了承のほどよろしくお願ひいたします。

(3) 報告第5号 下松市立小中学校児童生徒文化表彰について

○教育長 続きまして、報告の第5号、下松市立小中学校児童生徒文化表彰についてを議題といたします。

説明をお願いいたします。田谷学校教育課長。

○学校教育課長 報告第5号、下松市小中学校児童生徒文化表彰について、受賞者を決定し表彰いたしましたので、ご報告をいたします。

これは、下松市教育委員会表彰規則に基づき、文化的活動において、特に優秀な成績を収めた者について表彰を行うものであり、1月26日に選考会で審議をいたしました。8ページと9ページをご覧ください。

本年度は名簿のとおりとなります。小学校個人の部が10名、中学校個人の部が5名、右側の9ページに追加の1名を入れて5名ということになります。

一番下、中学校団体の部が、1団体が表彰となっております。

以上でございます。

○教育長 これについて、質問等、ご意見がございましたらお願いいたします。

よろしいですか。たくさんの子供たちが、本年度すばらしい文化的な功績を表彰されたということで、本当にうれしく思います。これについて、ご了承のほどよろしくお願ひいたします。

(4) 報告第6号 下松市芸術文化振興奨励賞（学生及び生徒）について

○教育長 報告の第6号に入ります。下松市芸術文化振興奨励賞（学生及び生徒）についてを議題といたします。戸高生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 報告第6号、下松市芸術文化振興奨励賞（学生及び生徒）について、ご説明いたします。

資料は10ページからになります。

これは、下松市芸術文化振興奨励賞受賞規則に基づいて表彰しております。一般部門の表彰につきましては、10月の本定例会でご報告いたしまして、11月の市技術展覧会の表彰式と併せて表彰しております。今回は高校生が対象であります。高校生活において、全国大会に出場相当の成績を収めた個人及び団体が対象となっております。選考委員会を1月の20日に開催いたしました。その結果、資料10ページに記載の7人が表彰対象となりました。部門や受賞理由等につきましては、記載のとおりとなっております。

表彰式につきましては、先ほどの小中学生の表彰式と併せて2月6日に行っております。

以上で報告を終わります。

○教育長 ありがとうございます。何かございますか、質問等。市内の高校生の文化的な活動も非常に盛んになってきていると思います。

よろしいですか。じゃあ報告5号につきまして、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

以上で、本日の議題は全て終了といたします。

～ その他報告・連絡事項 ～

○教育長 それでは、その他の事項に入ります。何かございましたら、挙手をお願いいたします。ないですか。

では、来月の予定について、村上課長補佐お願いいたします。

○教育総務課課長補佐 資料11ページでございます。

3月の行事の予定でございます。卒業式については、中学校が7日土曜日、小学校が19日木曜日となっております。小学校のほうに委員さん、ご列席のほうよろしくお願いたします。今回、資料等に同封させていただいておりますので、そちらの学校のほうにお願いします。当日、告辞を読み上げてもらうんですが、それについては、出来上がり次第、ご自宅のほうにお送りさせていただく予定としておりますので、よろしくお願いたします。

それから、定例会が26日木曜日13時半からの予定となっておりますので、よろしくお願いたします。

予定は、以上でございます。

○教育長 以上をもちまして、2月の教育委員会定例会を終了いたします。お疲れさまでした。

午後 1 時 4 0 分終了